

平成 26 年度

事業実績報告書

自 平成 26 年 4 月 1 日

至 平成 27 年 3 月 31 日

社会福祉法人大泉旭出学園

旭出調布福祉作業所

目 次

1. 総括	1
2. 目標の達成状況	1
3. 事業の状況	2
4. 利用者の状況	2
5. 就労移行支援事業	4
6. 就労継続支援B型事業	5
7. 受注作業等の状況	6
8. 行事等の実施状況	7
9. 利用者自治会の状況	7
10. クラブ活動の状況	7
11. 家族連絡会の実施状況	8
12. 会議・委員会の状況	8
13. 苦情解決の取り組み	8
14. 防災対策の状況	9
15. 職員研修の状況	9
16. 見学者の状況	10
17. 実習の状況	11
18. ボランティアの状況	12
19. 地域交流	12
20. 建物設備等による効果	12
21. はにかみやの状況	13
22. ホームページ・広報誌	13

1. 総括

平成26年度事業計画に基づき円滑な施設運営を行いました。

平成17年に民間移譲し10年が経過いたしました。家族、利用されている方々より社会福祉法人大泉旭出学園が運営して良い意味での変化があり嬉しく感じているとのご意見も頂きました。また、地域の特別支援学校等からも利用希望や見学の問い合わせを多数頂いています。

ホームページに作業のページを作成することにより仕事の受注先が増え、平均工賃が14,751円となりました。一方、広報誌は医務便りのみの発行になりました。

グループホームの建築は平成27年3月に工事着工を目指して準備を進めておりましたが、近隣の皆様方から出された反対意見等とそれに対するこれまでの対応の経過を検証し、よりよい方向を見出すための再検討を行うため、新築工事を延期することになりました。

2. 目標の達成状況

(1) 安定した作業

毎月80万円の売上があり平均的に作業に取り組みました。また、作業内容も単純な袋入れや折りなどの利用されている方が取り組みやすい作業種が増えました。平均工賃も前年度より2,610円増え14,000円を超えることができました。

(2) グループホームの設置運営

調布市深大寺南町二丁目に土地(約50坪)を購入し、平成27年3月に工事着工を目指して準備を進めておりましたが、近隣の皆様方から出された反対意見等とそれに対するこれまでの対応の経過を検証し、よりよい方向を見出すための再検討を行うため、新築工事を延期することになりました。

平成26年11月24日	グループホーム建築のお知らせを配布
平成26年11月26日	不動産の取得
平成26年12月13日	グループホーム説明会
平成27年 1月 9日	旭出調布市福祉作業所見学会
平成27年 1月11日	グループホーム説明会
平成27年 2月 3日	近隣のグループホーム「あおば」見学会
平成27年 2月 7日	解体工事説明会
平成27年 2月12日	旭出調布市福祉作業所見学会
平成27年 3月 1日	グループホーム説明会
平成27年 3月 3日	理事会にて延期を決定

(3) 地域に根差した活動

調布市花火大会鑑賞会(8月)に371名が参加し利用されている方と花火大会を鑑賞しました。また、喫茶「はにかみや」では貸切りや英語など好評頂き利用が増えています。地域清掃や地域との交流会などを実施し地域の中の役割を果たしました。

(4) 効果的運営を図る

事業計画ならびに予算に基づき適正に運営いたしました。

職員の適切な配置人数を確保することや分担の明確化を図り、作業や支援の向上につなげることができました。

(5) 経験豊かな人材育成

事業所の目標および各職員の希望を取り入れた研修計画に基づき人材育成に取り組みました。

やらされているではなく、考える行動できる意識改革になりました。

3. 事業の状況（平成26年3月31日現在）

(人)

事業	開設年度	定員	現員		
			男	女	計
就労移行支援事業	平成23年4月1日	8	6	2	8
就労継続支援B型事業	平成23年4月1日	52	41	15	56

4. 利用者の状況（平成26年3月31日現在）

(1) 月別利用者数

*初日の在籍者数 (人)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
就労移行支援事業	10	10	10	10	10	10	8	8	8	8	8	8
就労継続支援B型事業	61	61	60	60	60	60	60	59	58	58	57	57
計	71	71	70	70	70	70	68	67	66	66	65	65

(2) 退所者の状況

	男	女	計	主な理由
就労移行支援事業	3	1	3	就職4
就労継続支援B型事業	4	2	6	入所3、自宅2、他施設1
計	7	3	9	

(3) 年齢構成

平成26年3月31日現在 (人)

		20未満	20~29	30~39	40~49	50~59	60以上	計
就労移行支援事業	男	1	3	2	0	0	0	6
	女	0	2	0	0	0	0	2
就労継続支援B型事業	男	3	17	2	6	10	3	41
	女	1	1	2	7	3	1	15
計		5	23	6	13	13	4	64

		最年少(歳)	歳年長(歳)	平均(歳)	備考
就労移行支援事業	男	19	33	25	前年度 平均年齢 38歳 (37.6)
	女	20	29	24	
就労継続支援B型事業	男	19	63	37	
	女	19	61	44	
旭出調布福祉作業所		19	63	37.2	

(4) 障害の程度

		愛の手帳(人)					障害程度区分(人)						
		1	2	3	4	なし	否	1	2	3	4	5	6
就労移行支援事業	男	0	0	2	3	1	4	1	0	0	1	0	0
	女	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0
就労継続支援B型事業	男	0	3	22	16	0	23	0	7	6	5	0	0
	女	0	1	6	8	0	9	0	3	2	1	0	0
計		0	4	30	28	2	37	1	11	8	7	0	0

		身体障害者手帳（人）						他の障害（人）		
		1	2	3	4	5	6	ダウン症	自閉症	てんかん
就労移行支援事業	男	0	1	0	0	0	0	0	1	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0
就労継続支援B型事業	男	2	3	0	0	1	0	2	10	16
	女	0	0	3	0	0	1	1	1	2
計		2	4	3	0	1	1	3	12	19

(5) 利用期間 (人)

就労移行支援事業	1年未満	1～2年未満	2～3年未満		
	3	5	0		
就労継続支援B型事業	5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20年以上
	25	11	1	3	16

*東京都からの継続利用者 22名（男性14名・女性8名）

(6) 実施機関（12区市） (人)

調布市	28	多摩市	11	狛江市	4	府中市	4
八王子市	6	日野市	1	三鷹市	1	世田谷区	1
稲城市	4	武蔵野市	1	国立市	1	渋谷区	2

(7) 利用状況

① 就労移行支援事業

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備考
稼働(日)	21	23	22	23	23	22	23	20	20	21	20	23	計 261
総数(人)	200	211	202	223	186	165	173	139	119	163	154	151	計 2089
利用(率)	119	114	114	122	101	93	94	86	74	97	96	82	平均 99

② 就労継続支援B型事業

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備考
稼働(日)	21	21	21	23	19	20	22	18	20	20	20	23	計 248
総数(人)	1124	1072	1161	1203	951	1087	1160	981	1071	1002	972	1154	計 12938
利用(率)	102	98	106	100	96	104	101	104	102	96	93	96	平均 99

(8) 就職の状況

① 平成26年度 就職者数 4名

企業名	内容等	在籍年数	備考
富士産業(株)松沢事業所	食洗配膳	4年8か月	就労継続Bから就労移行
(株)キュービーあい	社内メール便	6か月	
(株)第一生命チャレンジド	清掃	1年5か月	正職員
富士産業(株)松沢事業所	食洗配膳	2年	

② 平成17年度より 就職者数 19名

③ 平成17年度より 離職者数 6名

④ 継続就職者数 13名

5. 就労移行支援事業

(1) 事業総括

就労した利用者は4名。それぞれ支援機関への引継ぎを終えています。外部機関を介した企業実習はマッチングが上手にいかず実施には至りませんでした。就労者を出していくことの事業目標は達成しており、利用（在籍）人数もほぼ安定した運営を行うことができました。

(2) 職員状況

(人)

所長（兼務）	1	サービス管理責任者	1	就労支援員	1
生活支援員（兼務）	1	職業指導員	1		

(3) 事業目標

① 勤める技能の向上

「指示されたことを確実に行う」ことが勤める技術の一つです。「言われたことだけしかやらない」との差は取組みの姿勢にあります。態度や仕上がり具合の確認など日常的に指導することで向上しています。

② 事業所以外の場所での活動

清掃作業の実践として、調布市市民サービス公社から地域の交流センター「青少年交流館」の建物日常清掃及び調布市より近隣4か所の公園清掃を受託し取り組みました。お客様の建物をお客様の前で清掃することで、実践力を高めることにつなげています。

③ 職場定着

定期的、あるいは仕事の休日などを利用して、近況報告のため来所してくれる人がいます。また、榎柴太樓聰本舗様で勤務する方へは同工場にて施設外就労を行っていることもあり、密なアフターフォローを実施しています。さらにOBや現役を含めた年2回の交流会の企画には多くの参加があり交流を深めることができました。それらのかかわりを通して、情態像の把握（心境、職場状況、家庭環境など）ができると共に、あらたな仕事への意欲を感じて頂いています。

(4) 就労支援・実績

個別支援計画を作成し、3ヶ月に1回以上、必要な場合には随時の見直しを行ない、就労に向けた支援を実施いたしました。

(5) 実践的な研究や取り組み「有効的な就労支援」

① スキル力を高めたくすべき点で共通していることは、「あいさつ」「報連相」の基本を「いつでも、どこでも、だれとでも」できることが重要であり、あいさつ唱和による発声で、元気な声をだすことを重点的に行いました。会社では、「場面に応じた声量の使い分け」が大事です。小さな声を大きくすることよりも、大きな声を小さくすることの方が容易です。

② 作業日誌を日々作成してもらいます。一日を振り返る、字を書くことが目的となります。罫線を入れてありますが、履歴書と同じ幅に設定しています。

③ 作業方法や指導の均等化を図るため、通常の支援マニュアルとは異なる「業務手順書」を作成し作業習得に役立てています。

④ 朝礼や終礼、業務確認などでは聞こえの不自由な方への配慮と学習的な要素をふまえて、簡単な手話と口話の同時提示に取り組んできました。結果として、聞こえの不自由な利用者と健聴者との作業時などのコミュニケーションにおいては職員が介在することも時に必要ではありますが、必要最低限のレベルを確保することが出来ています。

6. 就労継続支援B型事業

(1) 事業総括

年間の受注売上げが約1,000万を超えることができました。また、喫茶の売り上げも倍増いたしました。今後は、利用者数の増員、受注企業及び受注数の拡大が課題です。

(2) 職員状況

(人)

所長(兼務)	1	サービス管理責任者	1	看護師(兼務)	2
生活支援員	6	職業指導員	6	目標工賃達成指導員	4
事務	2				

(3) 事業目標

① 生産量・生産活動の充実

売上高は過去最高となりました。施設外就労による単価増、受注の確保、滞りない納品が要因として挙げられます。工賃支給の仕組み、作業の取り組みについて、年8回プロジェクターを使用し学習会を実施しました。作業意識が向上し、正確で効率的な作業ができるようになりました。

② 健康で安全な社会生活の支援

インフルエンザや風邪の予防に手洗いうがいの励行などの支援も行ない、作業所内での流行を防ぐことができました。

医務室だよりの発行(2回)、インフルエンザ流行時には手洗い支援をおこないました。また衛生環境に留意いたしました。

③ 一般就労等への移行支援

就労移行を目標としつつ、就労準備性を高めるため就労継続B型在籍時より就労移行支援のプログラムに参加できる体制作りを整えました。

(4) 利用者支援

利用者及び家族等の意向を踏まえた個別支援計画を作成し、同意を得たうえで支援を実施いたしました。個別支援計画は6ヶ月に1回以上、必要な場合には随時の見直しを行ない、支援の向上を図りました。個別面談では、親や利用者の高齢化など顕著に見られてきており家庭環境の把握等も兼ねた家庭訪問を実施いたしました。また、必要に応じて支援機関や行政を交え支援の共通認識を得るよういたしました。

毎日のミーティングや毎月のケース会議を活用して、絶えず利用者に関する情報交換を行なうことで、共通認識を持って支援にあたりました。

利用者が作業所で意欲的に生活できるように、毎月1回実施される「利用者自治会」をサポートしました。また、作業所での過ごし方や社会性を学ぶための学習会を開催し、今後の生活を自ら考えられるような取り組みを実施しました。

7. 受注作業等の状況

(1) 売上状況

① 就労継続支援B型事業

(円)

	売上額合計		工賃支払額	
	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
4 月	464, 098	577, 249	400, 987	468, 021
5 月	522, 084	952, 867	447, 873	742, 103
6 月	583, 113	1, 261, 629	514, 831	1, 099, 834
7 月	768, 877	867, 823	660, 849	700, 255
8 月	643, 045	931, 369	529, 464	772, 553
9 月	702, 223	881, 857	583, 177	704, 877
10 月	741, 124	1, 021, 793	618, 027	830, 368
11 月	1, 108, 378	1, 392, 824	954, 231	1, 189, 638
12 月	1, 388, 219	1, 476, 650	1, 245, 846	1, 262, 357
1 月	785, 781	828, 758	527, 711	574, 839
2 月	1, 131, 584	884, 721	1, 046, 673	1, 041, 554
3 月	909, 629	1, 024, 148	1, 030, 032	718, 266
合計	9, 748, 155	12, 101, 688	8, 559, 701	10, 104, 665

② 就労移行支援事業

(円)

	売上額合計		工賃支払額	
	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
合計	1, 152, 947	1, 358, 196	714, 000	793, 000

(2) 取引先の状況

(円)

取引先	受注作業	平成 25 年度	平成 26 年度
(有) サンコーパッケージ	箱折	137, 236	137, 683
(株) 榮太樓總本舗	菓子の詰め・折り	8, 746, 736	9, 015, 703
榮太樓商事(株)	菓子の詰め	0	1, 180, 224
SDM コンサルティング(株)	袋詰め	0	30, 800
北越パッケージ (株)	箱折り	23, 961	0
調布市	公園清掃	500, 756	554, 684
	犬鑑札	39, 900	42, 120
調布市市民サービス公社	清掃	291, 800	295, 914
	その他	145, 687	71, 625
(株)新日本包装	箱折	0	19, 440
ヤマト運輸(株)他	メール便他	140, 160	259, 335
合 計		10, 026, 236	11, 607, 528

(3) その他の作業(自主生産内訳)

(円)

作業名	内容	平成 25 年度	平成 26 年度
印刷	名刺・パンフレット	155, 646	381, 207
喫茶	コーヒー・菓子	720, 230	1, 478, 407

(4) 工賃の状況 (平均工賃) (円)

	就労継続支援B型事業	就労移行支援事業
平成25年度	12,141	10,500
平成26年度	14,751	7,851

8. 行事等の実施状況

行事名	実施日	場所	その他
宿泊旅行①	平成26年5月30日～31日	鴨川シーワールド	利用者28名
宿泊旅行②	平成26年7月4日～5日	富士山	利用者27名
調布市花火大会観賞会	平成26年8月24日	旭出調布福祉作業所	地域371名
法人40周年記念講演	平成26年9月11日	旭出調布福祉作業所	家族29名
*記念講演「旭出学園の教育と福祉」浅井理事長。法人40周年記念誌を配布する。			
下石原地域センター祭	平成26年10月30日	下石原地域センター	
調布市福祉まつり	平成26年12月6日	市役所前広場	
新年会	平成27年1月5日	旭出調布福祉作業所	利用者等100名
法人40周年記念旅行	平成27年1月17日	静岡	利用者、職員等54名
地域交流会	平成27年3月7日	旭出調布福祉作業所	地域50名

9. 利用者自治会の状況

年12回 実施

月	内容
4月	役員あいさつ、新しい仲間の紹介、今年度の目標、作業所のルール 他
5月	今年度の目標の確認、作業所ルールの確認 他
6月	作業所ルールの確認、みんなで考えること(宿泊旅行、他)
7月	作業所ルールの確認、みんなで考えること(横断歩道、他)
8月	作業所ルールの確認、みんなで考えること(悪口を言わない、他)
9月	作業所ルールの確認、みんなで考えること(仲良く、他)
10月	作業所ルールの確認、みんなで考えること(時間を守る、他)
11月	作業所ルールの確認、みんなで考えること(衛生、他)
12月	作業所ルールの確認、みんなで考えること(繁忙期、他)
1月	作業所ルールの確認、みんなで考えること(相手の気持ち、他)
2月	作業所ルールの確認、みんなで考えること(クラブ、他)
3月	次年度自治会役員、新年度に向けて 他

10. クラブ活動の状況

クラブ参加者 56名

各 年4回 実施

電車 15名		ポーツ 12名		散歩 9名		カオカA 10名		カオカB 10名	
5月	多摩動物公園	5月	多摩川	6月	アンジェ	6月	カオカボックス	8月	カオカボックス
9月	高尾山	10月	多摩川	9月	所内映画	9月	カオカボックス	10月	カオカボックス
11月	府中競馬場	2月	多摩川	11月	南大沢	1月	カオカボックス	1月	カオカボックス
2月	明治神宮	3月	多摩川	2月	深大寺	3月	カオカボックス	3月	カオカボックス

11. 家族連絡会の実施状況

年7回実施

月	内 容	出席数
4月	平成26年度事業計画、職員体制、予定 他	33
6月	平成25年度事業実績・決算、予定 他	28
9月	法人40周年記念講演 他	26
12月	福祉サービス第三者評価 作業状況 他	22
3月	平成27年度事業計画（案）、グループホーム 他	21

12. 会議・委員会の状況

会議・委員会	開催	内 容 等
リスクマネジメント委員会	10月	作業部会（リスク分析）
福祉サービス第三者評価		評価機関（日本介護情報機構株式会社）
	9月	家族調査、職員調査、経営層調査
	9月	利用者調査
	11月	訪問調査
	12月	評価結果（ホームページ公開）
経営会議	年11回	予定、支援の状況、検討事項 他
全体会議	年11回	連絡事項、作業状況、検討事項 他
ケース会議	年10回	個別支援計画、作業評定、利用者支援 他
支援係会議	年12回	利用者支援、作業状況、検討事項 他

13. 苦情解決の取り組み

苦情受付	苦情 11件 （グループホームの建築について）
第三者委員相談日	年5回 近況について、日常の相談 他
意見箱	意見 0件

14. 防災対策の状況

(1) 防災訓練

年4回 実施

平成26年4月28日	総合訓練（地震・火災想定・避難）	訓練参加者78名
平成26年8月20日	総合訓練（地震・火災想定・避難）	訓練参加者59名
平成27年1月26日	総合訓練（地震・火災想定・避難）	訓練参加者74名
平成27年3月30日	防災教育訓練 消防署立ち合い	訓練参加者62名

(2) 消防点検

平成26年9月17日	特殊消防用設備等 点検	消防署報告
平成27年3月25日	機器点検	

(3) その他

- ・災害時の緊急災害時対応を図るため、調布の二次避難所として協定を締結いたしました。

15. 職員研修の状況

研修名	主催	内容(テーマ)	人数
旭出グループ 新任職員研修	旭出グループ	旭出グループの新任職員による集合研修	2
旭出グループ 見学会	旭出グループ	法人内事業所見学	4
旭出グループ 中堅職員研修	旭出グループ	旭出グループの中堅職員による集合研修	5
サポートセンター あさひで施設見学	旭出調布福祉作業所	関連法人事業所見学	3
法人内新会計基準 移行に関する研修	大泉旭出学園事務局	新会計基準について	2
夢への懸け橋 プロジェクト	公益財団法人 ヤマト福祉財団	工賃向上	1
職業リハビリテーション 実践セミナー	独立行政法人高齢 障害・求職者雇用支援機構	障害者雇用の取り組み事例	1
全国的障害 福祉関係職員研究大会	日本知的障害者福祉協会	諸問題について研究事例	1
障害者雇用セミナー	株式会社FVP	障害者雇用の現状を知る	1
SFnet セミナー	SFnet	ISFnet グループの事業説明	1
事業所見学会	東京労働局	東京グリーンシステムズ	1
社会福祉事業者における 権利擁護・苦情対応研修	東京都社会福祉協議会	実効性のある苦情解決のあり方を考える	1
JC-NET 会議	NPO 法人 ジョブコーチネットワーク	障害のある人が社会で働くことについて 情報交換	1

社会福祉法人 新会計基準研修	東京都福祉保健局 指導監査部	社会福祉法人新会計基準について	1
東社協合同学習会 GHの課題	東京都社会福祉協議会	グループホームが、今、どのような課題を抱えているか	1
ソウェルクラブ海外研修	ソウェルクラブ	海外の福祉施設の見学	1
計画相談の基礎知識	東京都社会福祉協議会	サービス等利用計画	1
指導職ステップアップ 研修	東京都社会福祉協議会	組織からの役割期待の自覚を深める	2
OJTスキルアップ	ソウェルクラブ	人材育成の重要性	1
東京都相談支援従事者 初任者研修	東京都心身障害者 福祉センター	障害者総合支援法の概要	1
接遇講習会	ソウェルクラブ	接遇におけるマナー	1
人間関係能力 スキルアップ講習会	ソウェルクラブ	効果的コミュニケーションのスキル	1
権利を守る	東京都社会福祉協議会	人権、権利について	1
東京ディズニー アカデミー	ソウェルクラブ	ホスピタリティの心を学ぶ	1
「知的障害とは」	東京都社会福祉協議会	知的障害の基本を学ぶ	2
てんかん基礎講座	公益社団法人 日本てんかん協会	てんかんの基礎を学ぶ	1
栄養管理講習会	東京都多摩府中保健所	取り組み事例	1
生活習慣病予防研修	旭出調布福祉作業所	生活習慣病の予防	16

16. 見学者の状況

見学者受入れ総数 53件 247人

福祉関係	16	教育学校	16
利用希望	8	その他	13

17. 実習の状況

(1) 社会福祉援助技術現場実習

依頼先学校名	受け入れ期間	実習期間	受入数
		日間	人

*平成26年度実績なし

(2) 教員免許取得介護体験

大学名	年間受入回数	年間受入人数
お茶の水大学	2	3
共立女子大学	1	2
国立音楽大学	1	1
工学院大学	1	1
駒沢大学	1	1
高千穂大学	1	1
拓殖大学	1	2
多摩美術大学	1	1
中央大学	1	1
帝京大学	3	8
東海大学	2	3
東京都市大学	1	2
東洋大学	1	2
日本体育大学	5	7
日本大学理工学部	3	3
武蔵野大学	5	5

(3) 特別支援学校現場実習

依頼先学校名	年間受入回数	年間受入人数
府中けやきの森学園	6	6
多摩桜の丘学園	4	4
武蔵野東高等学校	1	1

(4) その他の実習等

依頼先学校名	内容	実習期間	受入数
富士見台小学校	10年目研修	3日間	1
東京三菱UFJ銀行	新任研修	2日間	5
調布市立第四中学校	職場体験	5日間	5
東京慈恵医科大学	福祉体験	5日間	1
はあと・ふる・えりあ	施設体験	2日間	1
調布市多摩川小学校	まちたんけん	1日間	11

18. ボランティアの状況

参加者	内容	参加形態	年間回数	参加人数	延人数
個人	作業ボランティア	不定期	7	5	7
	行事ボランティア	不定期	3	20	24
	喫茶ボランティア	定期的	37	2	37
家族会	作業ボランティア	年1回	16	22	50

19. 地域交流

- (1) 調布市花火大会観賞会 平成26年8月24日(土)
作業所屋上及び食堂・喫茶スペースで花火大会の観賞会を行いました。
模擬店や調布市のドッチビー体験なども楽しみながら地域の方と交流を図りました。
- (2) 下石原地域センターふれあいまつり 平成26年10月30日(水)
下石原地域センターにて模擬店販売を行いました。
マフィンとオニオンスープを販売、地域の方と交流を深めました
- (3) 調布市福祉まつり 平成26年12月6日(土)
調布駅前広場にて調布市福祉まつりに参加しました。
模擬店でパンケーキとオニオンスープを販売、地域の方と交流を深めました。
- (4) 地域交流行事 平成26年3月16日(土)
地域の方と一緒にモバイル作りを行いました。
- (5) 調布市観光フェスティバル 平成26年5月17日(土)
調布駅前広場で地元のおまつりに参加しました。
マフィンやホットケーキを販売、交流を深めました。

20. 建物設備等による効果

- (1) 色彩心理効果を考えた室内(平成24年1月より実施)
部屋の使用目的に合わせて基調となる色を定め、色の心理的効果による心や身体に与える影響を期待し、色と空間による支援に取り組んでいます。
落ち着き集中した作業風景や場面ごとの切り替えなど、めりはりのある生活の一助となっています。
- (2) エアシャワーによる支援(平成24年1月より実施)
センサー式のエアシャワーを設置し、作業室に入る前には全員がこの場所を通過するよう促しています。
髪の毛やゴミの防止や衛生管理に対する意識づけになっています。また、自らエアシャワーを通過することで、これから仕事する切り替えにも役立っています。

21. はにかみやの状況

パーティメニューを地域のお子様連れのお母様たちの懇親会などに多く利用していただきました。ボランティア講師による幼児向け英語教室「えいごであそぼう」を定期的に開催しました。楽しそうに英語に親しむ子どもたちの声が聞こえました。

22. ホームページ・広報誌

(1) ホームページ

月2回の更新日を有効に活用し、定期的な更新を行いました。
花火大会観賞会の情報も発信できるよう取り組みました。

(2) 広報誌

医務だよりのみ3回発行しました。